

京都舞鶴港の主要な取組状況

平成 29 年 5 月 26 日
(一社) 京都舞鶴港振興会

<最近の動き>

1 京都府港湾局の設置

- 平成 29 年 4 月、本庁の港湾課を舞鶴に移転し、本庁組織として「港湾局」を設置

2 コンテナ航路の拡充

- 平成 28 年コンテナ取扱量 11,493 TEU ※国際フェリー含む
- 韓国コンテナ船社のアライアンス締結により、完全な週 2 便体制に

3 バルク貨物の拡充

- バイオマス発電燃料等の増加の動き

4 国際フェリー貨物の拡充

- 日韓露国際フェリーのコンテナ貨物が順調に増加 (対前年比 1,374%)

5 クルーズ客船入港

- 京都舞鶴港に大型外航クルーズ客船が続々と入港
 - ・平成 28 年 クルーズ寄港回数 17 回【過去最高】
「コスタ・ビクトリア」(7.5 万トン) 日本海周遊クルーズ 10 回 他
 - ・平成 29 年 クルーズ寄港予定 39 回【過去最高】
「コスタ・ネオロマンチカ」初(5.7 万トン) 日本海周遊クルーズ 32 回
「ドーン・プリンセス (7.7 万トン)」 「ロストラル (1.1 万トン)」 「ブレーメン(6,752 トン)」 他
- 「クルーズ・オブ・ザ・イヤー 2016」特別賞受賞 (28 年 12 月)

<取組状況>

1 コンテナ確保の取組

- 大連日本商品展覧会への出展 28 年 9 月
- メッセナゴヤ 2016 28 年 10 月
- 京都舞鶴港セミナーin 大連 29 年 2 月
- 京都舞鶴港セミナーin 広島 29 年 3 月
- インセンティブ補助金制度の見直し 29 年 4 月

2 フェリー就航に向けた取組

- 直行航路の開設に向けた直行トライアルを実施 27 年 12 月
- インセンティブ補助金制度の見直し 29 年 4 月

3 クルーズ誘致に向けた取組

- 船社の海外拠点へのトップセールス (イタリア、シアトル、上海等)
- 「日本海クルーズセミナー」実施 (大阪、名古屋、東京) 29 年 1 月

4 施設整備

- 国際ふ頭 CFS (2 棟目) の整備 29 年 4 月 事業化
- 第 2 ふ頭 「海の京都駅 (仮称)」の整備 29 年 4 月 事業化
- 国際ふ頭 岸壁延伸 29 年秋 供用開始予定
- 国際ふ頭 多目的クレーンの移設 29 年冬 供用開始予定

境港の港勢〈平成28年速報値〉について

1 全体取扱貨物

- 取扱量（トンベース）は、前年に比べて微増（100.3%）
 ○輸・移入が前年並みを維持する一方で、輸・移出は減少
 ○輸出では主に非鉄金属、移出では石材などがそれぞれ減少

表1 取扱貨物実績

		平成27年(1月～12月)	平成28年(1月～12月)	
		貨物量(トン)	貨物量(トン)	前年比(%)
外 貿		2,008,545	2,075,430	103.3
	輸 出	225,909	185,235	82.0
	輸 入	1,782,636	1,890,195	106.0
内 貿		1,729,565	1,672,229	96.7
	移 出	239,444	195,379	81.6
	移 入	1,490,121	1,476,850	99.1
合 計		3,738,110	3,747,659	100.3

2 コンテナ貨物量

- 取扱量（TEUベース）は、前年比106.2%の増で過去最高
 ○輸出では、非鉄金属、水産品などが減少した一方、紙・パルプ、木製品などが増加（前年比108.6%）
 ○輸入では、非金属鉱物などが減少した一方、産業機械、電気機械などが増加（前年比103.9%）
 ○航路別では、中国（対前年比103.8%）、韓国（対前年比106.6%）でそれぞれ対前年比で増

表2 コンテナ貨物実績

	輸出入区分	貨物量区分	平成27年	平成28年	前年比(%)
			1月～12月	1月～12月	
中 国 航 路	輸 出	トン数	11,276	6,724	59.6
		個数(TEU)	579	651	112.4
	輸 入	トン数	9,417	10,060	106.8
		個数(TEU)	2,684	2,737	102.0
	合 計	トン数	20,693	16,784	81.1
		個数(TEU)	3,263	3,388	103.8
韓 国 航 路 *DBSフェリー分含む	輸 出	トン数	151,049	157,437	104.2
		個数(TEU)	11,081	12,008	108.4
	輸 入	トン数	101,551	108,355	106.7
		個数(TEU)	9,119	9,528	104.5
	合 計	トン数	252,600	265,792	105.2
		個数(TEU)	20,200	21,536	106.6
合 計	輸 出	トン数	162,325	164,161	101.1
		個数(TEU)	11,660	12,659	108.6
	輸 入	トン数	110,968	118,415	106.7
		個数(TEU)	11,803	12,265	103.9
	合 計	トン数	273,293	282,576	103.4
		個数(TEU)	23,463	24,924	106.2

3 環日本海定期貨客船航路の運航実績

(1) 乗客（境港～東海間）

2016年間の延べ乗客数は、前年比8.2%増の29,143人となり、2015年を上回り就航以来最高を更新。

	運航回数	延べ乗客数	1便当たり 平均乗客数	乗客国別内訳			
				韓国	日本	ロシア	その他
2009年実績	50 航次	17,568 人	176 人	13,230 人	3,608 人	622 人	108 人
2010年実績	86 航次	26,589 人	155 人	21,471 人	1,887 人	2,774 人	457 人
2011年実績	50 航次	23,475 人	235 人	20,036 人	1,306 人	1,758 人	375 人
2012年実績	50 航次	25,388 人	254 人	22,883 人	747 人	1,365 人	393 人
2013年実績	49 航次	24,410 人	249 人	22,641 人	619 人	725 人	425 人
2014年実績	49 航次	17,353 人	177 人	15,683 人	500 人	862 人	308 人
2015	1-3月	11 航次	6,177 人	281 人	6,007 人	50 人	40 人
	4-6月	13 航次	7,057 人	271 人	6,659 人	112 人	132 人
	7-9月	11 航次	5,509 人	250 人	4,995 人	138 人	213 人
	10-12月	13 航次	8,191 人	315 人	7,859 人	153 人	84 人
2015年実績	48 航次	26,934 人	281 人	25,520 人	453 人	492 人	469 人
2016	1-3月	13 航次	8,436 人	324 人	8,201 人	59 人	45 人
	4-6月	13 航次	7,370 人	283 人	6,896 人	91 人	139 人
	7-9月	14 航次	7,418 人	265 人	6,508 人	332 人	246 人
	10-12月	13 航次	5,919 人	228 人	5,444 人	121 人	111 人
2016年実績	53 航次	29,143 人	275 人	27,049 人	603 人	950 人	541 人

(注) 乗客国別内訳は運航船社からの聞き取りによる。

(2) 貨物

2016年間の合計トン数は6,461tと、前年比7.3%の増。

(主な要因：韓国向け原木、完成自動車等の貨物の増加。)

	運航回数	境港での貨物実績			1便当たり 平均貨物量
		コンテナ貨物 (TEUベース) (トンベース)		バルク 貨物	
2009年実績	50 航次	82 TEU	581 ft	415 ft	996 ft
2010年実績	86 航次	320 TEU	2,136 ft	5,866 ft	8,002 ft
2011年実績	50 航次	530 TEU	2,995 ft	4,796 ft	7,791 ft
2012年実績	50 航次	608 TEU	3,651 ft	5,272 ft	8,923 ft
2013年実績	49 航次	559 TEU	3,094 ft	6,643 ft	9,737 ft
2014年実績	49 航次	633 TEU	3,731 ft	3,396 ft	7,127 ft
2015	1-3月	11 航次	84 TEU	420 ft	518 ft
	4-6月	13 航次	179 TEU	1,090 ft	988 ft
	7-9月	11 航次	161 TEU	973 ft	521 ft
	10-12月	13 航次	122 TEU	725 ft	784 ft
2015年実績	48 航次	546 TEU	3,208 ft	2,811 ft	6,019 ft
2016	1-3月	13 航次	60 TEU	277 ft	652 ft
	4-6月	13 航次	144 TEU	940 ft	989 ft
	7-9月	14 航次	192 TEU	1,190 ft	888 ft
	10-12月	13 航次	103 TEU	633 ft	892 ft
2016年実績	53 航次	499 TEU	3,040 ft	3,421 ft	6,461 ft

2016年貨物内訳（1月～12月）

	区分	出入	数量	主な貨物
境港←→東海	コンテナ	輸出	77 TEU	原木
		輸入	184 TEU	野菜・果物、水産品
	バルク	輸出	1,672 ft	完成自動車、産業機械
		輸入	195 ft	完成自動車
境港←→ウラジオ	コンテナ	輸出	187 TEU	自動車部品、産業機械
		輸入	51 TEU	水産品
	バルク	輸出	1,348 ft	完成自動車、薬品
		輸入	206 ft	完成自動車

2017年クルーズ客船寄港予定について

(1) 小型外国クルーズ客船 (17回)	
寄港予定月	4月～6月、9月
クルーズ客船	ロストラル、カレドニアン・スカイ、ブレーメン(初)、シルバー・ディスカバラー
使用予定岸壁	外港2号、外港1号、竹内4号
(2) 大型外国クルーズ客船 (43回)	
寄港予定月	4月～11月
クルーズ客船	ダイヤモンド・プリンセス、コスタ・ネオロマンチカ(初)、コスタ・ヴィクトリア、オペレーション・オブ・ザ・シーズ、クァンタム・オブ・ザ・シーズ、コスタ・セレーナ(初)、オーシャン・ドリーム(初)、MSCリリカ(初)、ノルウェー・エー・ジョイ(初)
使用予定岸壁	昭和南1・2号、中野1号
(3) 日本のクルーズ客船 (4回)	
寄港予定月	8月～10月
クルーズ客船	飛鳥II
使用予定岸壁	昭和南1・2号、中野1号

<初寄港となる客船>

寄港船舶					寄港 予定月	船籍・
船名	船社	総トン数	全長	乗客定員		
コスタ・ネオロマンチカ	コスタクルーズ	56,769t	220.62m	1,800名	4月	イタリア
ブレーメン	ハバグロイド	6,752t	111.51m	193名	6月	バハマ
コスタ・セレーナ	コスタクルーズ	114,147t	269.59m	3,760名	7月	イタリア
オーシャン・ドリーム	ピースボート	35,265t	204.76m	1,422名	8月	パナマ
MSCリリカ	MSCクルーズ	65,591t	274.90m	2,679名	9月	パナマ
ノルウェー・エー・ジョイ	ノルウェー・エー・クルーズ	167,800t	333.46m	3,900名	11月	バハマ

(注) 2017年3月15日現在のバース予約をもとに作成したものであり、今後、変更になることがあります。

<トピックス>2019年「クイーン・エリザベス」初寄港決定

クルーズ船の中でも世界的に有名な「クイーン・エリザベス」の境港初寄港が決定。

寄港日：2019年4月24日(水)

運航コース：4/19横浜発－(海上)－函館－秋田－金沢－
境港－釜山－八代－(海上)－4/28横浜着
9泊10日

クイーン・エリザベスについて：

初代は1938年に建造され、1940年に就航。現在の船は、2010年10月に就航した3代目に当たる。およそ500億円かけて建造された本船は、初代クイーン・エリザベスをイメージした内装が施され、エレガントなアールデコを現代風にアレンジしてデザインされている。2014年に日本初寄港。



総トン数:90,900トン 全長:294m
全幅:32.25m 乗客定員:2,081人

「境港」発展の基盤：新貨客船ターミナル

我が国唯一の日・韓・ロを結ぶ国際定期貨客船(DBSクルーズフェリー)や
国内RORO船などに対応した物流ネットワークの拠点として機能し
大型クルーズ客船も利用可能な**外港竹内南地区貨客船ターミナル(整備中)**

事業期間：平成27～31年度

